

## 大田中学校



このたびは、全国植樹祭に参加し、貴重な体験をさせていただきました。練習では、言葉や

所作一つ一つを間違えないように覚えることを意識しました。本番は足が震えるほど緊張しましたが、天皇陛下にお目にかかることができ、優しく接していただきましたことを光栄に思います。かけがえのない思い出になりました。

(3年 <sup>いわた</sup> 岩田 <sup>おとや</sup> 音哉さん)

植樹祭では、天皇陛下に種をお渡しするという大切な役目をさせていただきました。とても緊張しましたが、しっかりと気持ちを込めて渡すことができました。多くの方々に見守られる中での体験はとても特別で、きっと一生の思い出になると思います。これからも自然を大切に、緑や地球のためにできることを続けていきます。

(3年 <sup>つぼうち</sup> 坪内 <sup>かえで</sup> 楓さん)

## 荒川中学校



初めての植樹祭参加でしたが、木の植え方や未来への行動など、たくさん知れて楽しかったです。前日に雨が降ったため、植樹の時には土がやわらかく、植えやすかったことを覚えています。木を利用して、新しい木を植える「活樹」をすることで、より一層森が豊かになっていくと聞きました。これから意識して、環境を守っていきたいと思える良い経験となりました。参加できて、良かったです。

(3年 <sup>くろさわ</sup> 黒澤 <sup>みさき</sup> 美咲さん)

## 高篠中学校

66年ぶりに埼玉県で開催された植樹祭。それも秩父で開催という貴重な機会にご招待



いただき、当日は代表生徒とともに出席しました。県内の子どもたちが大切に育てた苗木、「森林・みどりを守り育て、元気な姿で未来の子どもたちへ繋いでいく」という想いで植樹しました。これらの木々が、大きく逞しく成長していく姿を楽しみにしています。式典では、「活樹」<sup>たくま</sup>「未来へつなぐ」思いを込めた圧巻のパフォーマンスが披露され、生徒も私も見入っていました。森林を守り、育て、利用する「活樹」について考えるよい機会となりました。関係者の皆さんには、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。(飛川 成正校長先生)

## 吉田中学校



私は植樹祭を通して、自然に対する理解をより深めることができました。

私の住む地域は自然が豊かなので、自然についてはよく分かっているつもりでした。しかし、植樹祭の事前学習や式典を通して、以前までなら知ることのなかった森・川についての知識や林業従事者の方々が森を守ってくださっていることを知りました。そしてよりたくさんの方々に自然の魅力を知ってほしいと思いました。これからも自然を大切に、次の世代、また次の世代へと森林をきれいな状態で受け継いでいけるようにしたいです。そのために、自分の周りからできることを始めていきたいと思えます。

(<sup>まつもと</sup> 松本 <sup>ななせ</sup> 七星さん)

# 5/25(日) 第75回全国植樹祭 開催!

秩父ミュージックパークを主な会場として、第75回全国植樹祭が開催されました。式典、アトラクションでは、市内の小中学生もさまざまな役割で参加しました。



## 影森中学校

私は、5月25日に開催された第75回全国植樹祭に参加し、改めて自然の大切さを学びました。

全国植樹祭では、普段経験できない樹の苗を植えることや、植樹祭の歴史を学ぶことができました。また、埼玉県の自然や文化、森林・林業、そして伝統文化や料理なども知ることができました。

式典では、日本国の象徴である天皇陛下が秩父の地にお越しいただき、お手植えやお手播きを賜り、とても素晴らしい式典でした。

私は、植樹祭で経験したことや学んだことを多くの人に広げるとともに、埼玉県の森林を次世代につなげるため、さらに自然を豊かにしていこうと思います。

(生徒会長 <sup>あざみ</sup>浅見 <sup>せな</sup>青波さん)

## 秩父第一中学校



私は、第75回全国植樹祭に参加して、大切なことを学ぶことができました。それは、森

林を循環利用するという「活樹」です。現在、県内の人工林が利用可能な時期と知り、私たちが生きる未来のためにも、私たち自身で森林資源を活かす活動を推進していく必要があると思いました。

また、式典のさまざまなパフォーマンスを通して、人と森林とは想像以上に親密な関係にあることを楽しく学ぶことができました。

(3年 <sup>たばた</sup>田端 <sup>きょうすけ</sup>杏丞さん)

## 尾田蒔中学校

私は、5月25日に校長先生と共に、全国植樹祭に参加しました。普段は苗木を植えたり、自然と触れ合ったりする機会がなかったので、自分の手で苗木を植える体験はとても新鮮でした。植えるときは、ただ土に入れるだけでなく、苗が育ちやすいように土を優しくかぶせたり、水をたくさんあげたりといった細かい工夫が必要で、自然の繊細さを感じました。

また会場内で販売されていた埼玉県の特産品など、新たな発見がたくさんあり、興味が深まりました。これからも自然を大切に、環境に配慮した行動を心がけていきたいです。

(生徒会長 <sup>たかみや</sup>高宮 <sup>るな</sup>瑠奈さん)

## 秩父第二中学校



私は、第75回全国植樹祭に参加させていただき、その規模の大きさに圧倒されたというのが第一印象です。

会場での植樹後、記念式典の中で「活樹」という言葉が印象に残りました。自分が植樹した苗が、数十年後に誰かの役に立っていると考え、とてもうれしい気持ちになりました。また、全国植樹祭を通して、全国の森林がいつまでも守られ、後世に継承されてほしいと思いました。(3年 <sup>さいとう</sup>齋藤 <sup>なごむ</sup>和さん)

## 花の木小学校

花の木小学校から「花の木みどりの少年団」として、6年生4名が天皇陛下のお手植え、お手蒔きに、1名が秩父屋台囃子の囃子手として参加しました。子供たちの「雄姿」とともに、終わった後の「安堵の表情の中に見せる達成感や満足感に満ちたとびっきりの笑顔」が忘れられません。

「人・森・川 つなげ未来へ 彩の国」という大会テーマでしたが、子供たちの練習や本番に臨む姿から、正に未来を生き抜き、未来を紡ぐ子供たちの「たくましさ」や「頼もしさ」に触れ、胸が熱くなりました。

学校長として児童とともに関わったことを光栄に思います。最後に、本事業に多大なるご理解やご協力いただいた関係者並びに保護者の皆様に心より御礼申し上げます。

(門倉 稔校長先生)

## 西小学校



西小学校の児童2名は、天皇陛下がお手播きを終わられた後、おしぼりを勧める役割を

担当しました。2月より事前研修やリハーサルを重ね本番を迎えました。

お野立て所を始めとしてきれいに整備された式典会場や関係している人々の多さに圧倒されながらも、天皇陛下より「何年生ですか」「木に興味がありますか」などのお言葉をいただく等、一生の思い出となる貴重な体験をさせていただきました。



## 南小学校



南小学校の緑の少年団に選ばれると思っていなかったのですが、とてもうれしかったです。植樹祭本番に向けて、みんなで練習も一生懸命頑張りました。私は、代表者記念植樹を手伝う係になりました。偉い人の手伝いは緊張しましたが、植樹のやり方をしっかりと伝えることができました。緑は空気をきれいにし、木は土砂くずれを防いだり、森はたくさんの生き物のすみかになったりすることを知りました。緑がたくさん増えるといいな。 (6年 小池 和花さん)

## 尾田蒔小学校



私は、今回参加した全国植樹祭をとおして、森林や川が私たちの生活を守ってくれていることを改めて知り、自然の大切さを見つめ直す貴重な体験をすることができました。

この植樹祭で植えた木が、私たちと一緒に大きく成長していくことが楽しみです。私が大きくなったときも、秩父が豊かな自然に囲まれているように、みんなで自然を大切に守っていきたいと思います。

(6年 小泉 早都さん)

## 久那小学校



久那小学校から児童2名がスクールステイで育てた苗木を農林水産大臣方へ贈呈する役として参加しました。当日は見事にその大役を果た

し、贈呈時の様子を話す二人の笑顔がとても印象的でした。全国植樹祭の経験を通じて、子どもたちは自然とのふれあいを楽しみながら、環境の大切さを実感し、自然を大切に作る気持ちがより強くなったようです。今回贈呈した苗木が大きな木に育つように、自然を思う子どもたちの気持ちも大きく育ててほしいと思います。

## 原谷小学校



原谷小学校から児童4名が式典に参加し、天皇陛下への「お鋤渡し」と「お手植え」に関わらせていただきました。全国規模の催しで、しかも天皇陛下の御前に立てば、誰しものが緊張するはずですが、しかし、当日、児童は大変落ち着いていました。これは努力の成果だと思いました。練習を積み重ね、「120%」の完成度になっていたことが、大切な時に力を発揮することにつながったと感じました。今回の植樹祭を通して、私自身、準備の大切さを児童から改めて教わったような気がしました。

(井上 淳一郎校長先生)

## 高篠小学校



高篠小学校から児童2名が、苗木の贈呈者として参加しました。児童は、練習やリハーサルを繰り返し、本番に臨みました。贈呈の言葉を言った児童は、「練習の時は、安心して言えましたが、本番は緊張しました。」、苗木を手渡した児童は、「たくさん練習したので、緊張したけど頑張れました。」と振り返っていました。厳粛な雰囲気の中で行われましたが、児童たちは、責任を持って役割を果たしてくれました。

## 影森小学校



私は秩父ミュージックパークで開催された第75回全国植樹祭に参加しました。私は天皇陛下がお手播きされるアカシデの種をお渡ししました。お渡しした後、やさしく「ありがとう」と言ってくださり、とても嬉しかったです。私が手渡したアカシデの種が元気に育つといいなと思いました。大会の様々なプログラムを通して、どのように人と自然が共存してきたのか、そして「活樹」という言葉にあったように、いかにこのかけがえのない自然という財産を未来に残していくのかということ学びました。

(6年 清和 茉さん)

## 大田小学校



リハーサル、当日ともに、大人から見ても緊張感のある空間でしたが、児童は自然体でのびのびとアトラクションを演じることができました。他校の友達ともすぐに仲よくなり、貴重な経験と成長の機会をいただけたことに、心から感謝申し上げます。また、快く送り出してくださった保護者の皆様、本当にありがとうございました。

## 荒川東小学校



荒川東小学校の児童は9名参加しました。主な場面はアトラクションでの出演でした。動きや振り付けを覚えようと、繰り返し一生懸命に練習を重ねてきました。本番では、元気よく演技を終えることができました。児童に感想を尋ねると、「あまり緊張しないで、練習した成果を発揮できました。」「貴重な体験ができました。」と満足そうに答えていました。

## 見て・作って・学ぶ 森林環境学習

市では、小学校の総合的な学習の時間等を活用し、森林環境教育を実施しています。

吉田小学校4年生の児童は、大滝地域で丸太をのこぎりで切ったり、枝のない木に縄をかけて登る体験を行いました。後日、実際の森林で学習したことを新聞にまとめ、木を使ったキーホルダーを作りました。



5年生の児童は、実際に木を伐採、製材に加工されていく工程を見学しました。事後学習として、木材を使ってミニチュア版の木造家屋を建てる体験を行いました。

5年生の児童は、実際に木を伐採、製材に加工されていく工程を見学しました。事後学習として、木材を使ってミニチュア版の木造家屋を建てる体験を行いました。

## 荒川西小学校



荒川西みどりの少年団から8名の児童がアトラクションに参加しました。限られた練習の中で、他校の児童や高校生たちと息を合わせていました。当日、大観衆を前に出番が近づくにつれ、児童たちの表情も強張っていましたが、本番では、これまでで最高の演技を披露しました。さまざまな立場の人が協力して一つの舞台を作り上げる様子から、森を守る取り組みや自然を大事にする心も、人と人との協力があったのことがだと改めて感じました。児童は、「他校と交流でき、友だちもできた。」「木を植え、育てることも大切だけど、木を生かす活樹についても知ることができた。」「本番後には達成感がすごくあった。」と述べていました。